

回 覧

岐阜県高校総合文化祭最優秀賞受賞記念

西郷地域・本巣地域・黒野洞地域・方県村山地域の皆様
戦後80年の年を締め括る船来山南側滑走路の重要な講演

岐阜県の秘匿飛行場と本土決戦準備 ～郷土の戦争遺跡を探る～

◆日時 / 令和7年 11月29日(土)

9:00～11:00 ※駐車場 西郷公民館

◆会場 / 西郷公民館 2階ホール

◆講師 / 関高校地域研究部飛行場研究班

■お申込 / TEL・FAX.239-2473 (西郷公民館・午前中)
(50名様限定) メールアド/printex-gifu@ezweb.ne.jp

● セミナーの内容

●はじめに

関高等学校地域研究部は、2021年2月より、中濃地域に所在した太平洋戦争時の秘匿飛行場、関飛行場の調査を行ってきた。5年間行った調査により、飛行場の歴史や役割、滑走路や地下壕などの遺構の一部を、明らかにすることができた。

秘匿飛行場とは、1944年7月のサイパン島陥落を機に、本土防衛のための捷号作戦の拠点として、全国40カ所に作られた施設であり、関飛行場もそのひとつであった。滑走路建設は翌年2月に始まったが、3月の硫黄島陥落を機に、本土決戦に向けた決号作戦が発令され、関飛行場も特攻基地へと性格を変えた。滑走路は4月に完成、軍用機が離着陸できるようになり、飛行訓練も行われていたことが知られている。

1. 関飛行場の滑走路調査
2. 本巣市、大垣市の飛行場への関心
3. 本巣飛行場を訪ねて
4. 本巣飛行場こそ大垣飛行場であった

大垣飛行場の名は、関飛行場とともに、軍の記録に登場する。

大戦末期、大本営は、攻め寄せる米軍の戦力を特攻により削ぎ、本土で一大決戦を挑むという決号作戦を発令する。陸軍東海軍管区では、関や大垣などの秘匿飛行場からの特攻作戦と、その後の地上戦の準備を進めていた。

5. まとめと展望



主催/西郷公民館 協力/岐阜県立関高等学校地域研究部